

官民一体で取り組む 「豊田市SDGs認証制度」による 地域事業者のSX支援

豊田市 豊田信用金庫 豊田商工会議所

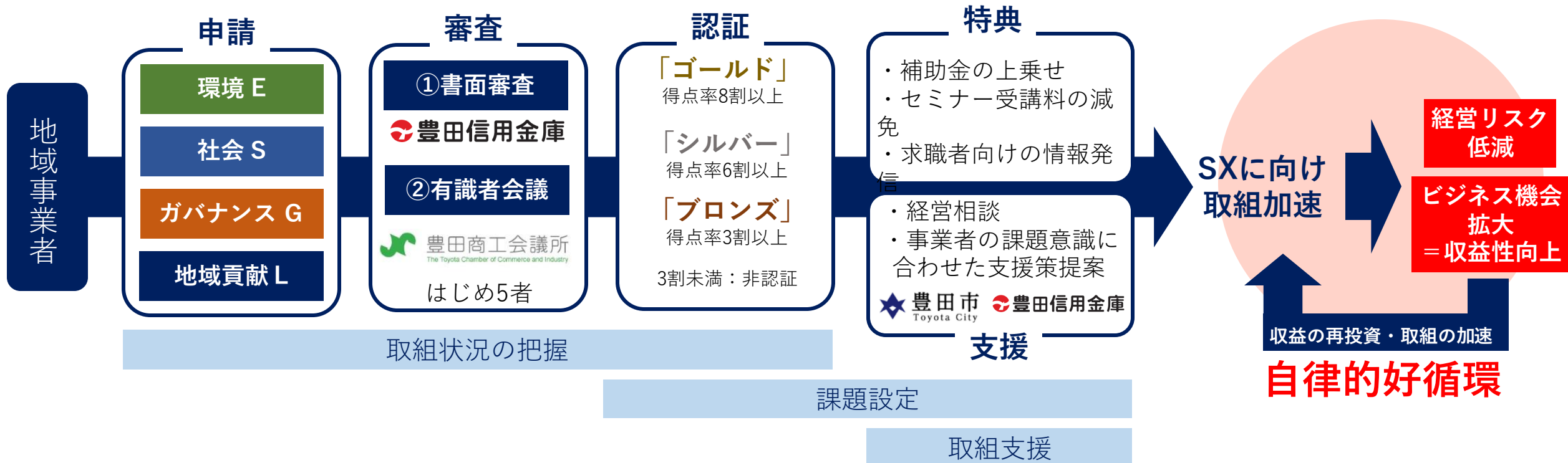


ミライのフューをつくろう



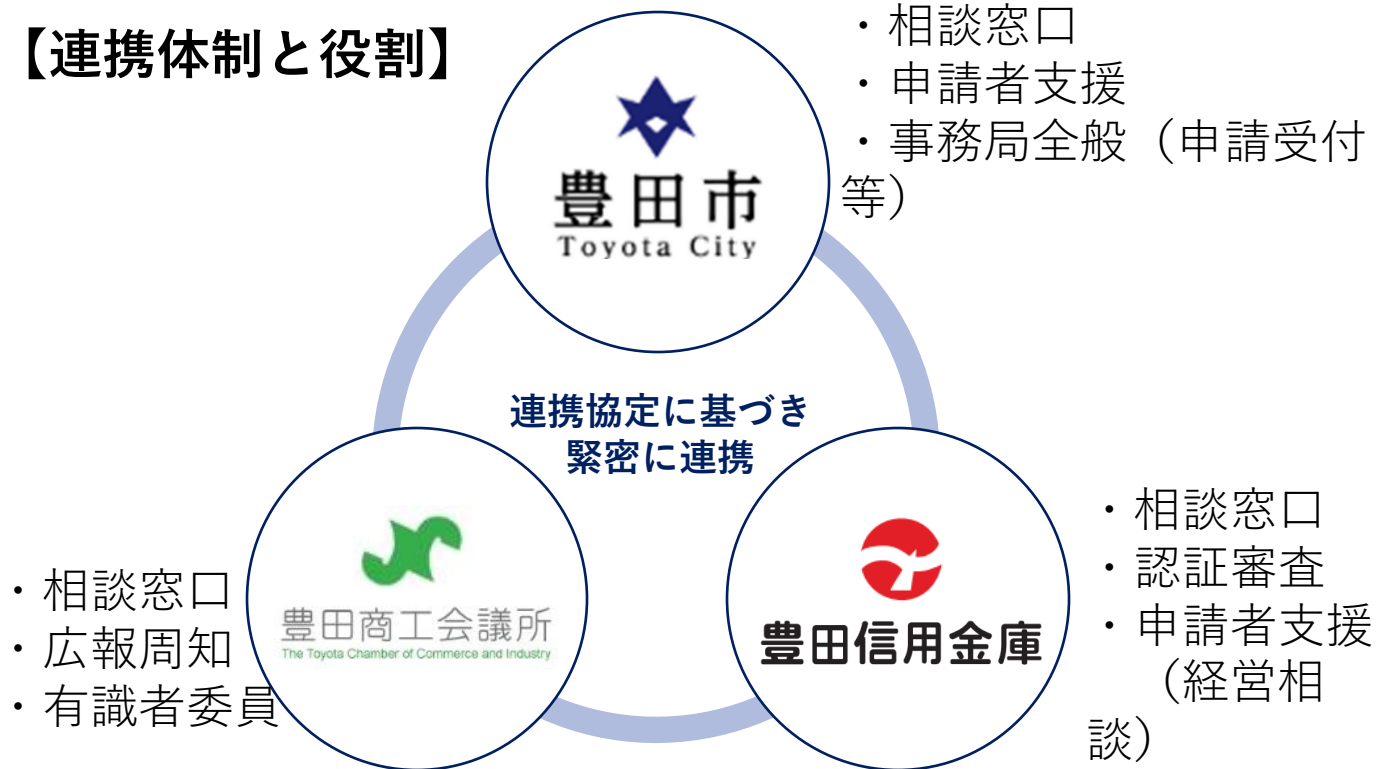
未来都市とよた

- 中部圏初の自治体SDGs認証
- 4分野の指標から取組を評価。書面審査・有識者会議を経て、ゴールド・シルバー・ブロンズの3段階で認証
- 認証特典と経営支援で事業者の取組を支援し、自律的好循環を創出



- 製造業を中心とした地域産業が転換期を迎える中、「地域事業者のSX（持続可能な経営への転換）を加速すべき」という危機感を3者が共有
- 包括連携協定に基づく連携事業として、それぞれの組織力を生かした役割分担により実施体制を構築

【連携体制と役割】



【連携効果】

地域金融機関の知見を
審査や事業者支援に活用

- 運用コストを抑制
- 申請・審査・認証からスムーズに事業者支援へ移行

運用コストの抑制と認証・事業者支援の質の両立

◎認証の質…UNCRD（国連地域開発センター）監修の汎用的な評価指標、
有識者会議、申請者抽出ヒアリング、金融機関による審査 など

◎事業者支援の質…信用金庫による経営相談、官民による支援施策 など

【評価指標】

【有識者会議委員】

【環境（E）】

- ・脱炭素への取組
- ・環境マネジメント体制
- ・生物多様性 他

【社会（S）】

- ・多様な働き方
- ・労働安全/健康経営
- ・女性活躍 他

【ガバナンス（G）】

- ・SDGs推進体制
- ・法令順守への取組
- ・情報セキュリティ 他

【地域貢献（L）】

- ・市内雇用への貢献
- ・市施策への協力
- ・地域への配慮 他



UNCRD 遠藤所長



法政大学 川久保教授



愛知県企画課
近藤担当課長



NPO法人Mブリッジ
米山代表理事



豊田商工会議所
小田事務局長兼総務部長

直近の動きと、すでに見えつつある成果

- 【2023. 5】 ・ 第1回認証受付開始→先着50件の枠がわずかに10日間で埋まる
- 【2023.10】 ・ 第1回認証結果発表
全43事業者が認証を取得（ゴールド2、シルバー12、ブロンズ29）
・ 10/24には認証書授与式を開催、第2回認証申請を10/30から開始
- 【2023.11】 ・ 豊田信用金庫での累計面談実績38件→経前課題発掘

◎地域事業者からの意見

- ・ 登録制度と違い、認証制度ではランクがつくため差別化が図れる。
また、中小企業であっても大企業と同じ土俵で評価されることが魅力。
- ・ 市や信用金庫等の力を借りて、SDGs活動のマッチングができるとうれしい。
- ・ 認証申請を通じて、組織としてSDGsに取り組む契機となる感じた。



【期待する影響】

- ・ 地域事業者の持続可能な経営への転換と収益の再投資による自律的好循環へ
- ・ 取組の横展開と自律的好循環をさらに加速させ、持続可能な地域をつくり広げ

たい

①財務的支援の強化

- ・ 豊田信用金庫で独自の金融商品を検討中

②支援の輪の拡大： 「（仮称）豊田市経営SX支援コンソーシアム」の構築

- ・ 早期の構築・支援の充実に向け調整中。金融機関・保険会社等10社以上が参画見込み

③横展開への試行： 県内横展開→県内統一制度化→全国展開へ

- ・ 愛知県SDGs担当課長を有識者会議委員に招聘
- ・ 県内SDGs未来都市に呼びかけ→小牧市が豊田市と連携した認証制度構築の検討意向
- ・ 認証の「相互乗り入れ」による価値向上、申請者負担減、認証者特典拡大を目指す

豊田市認証
SDGs Certification



DECADE
OF >>>
ACTION



ご清聴ありがとうございました。